

＝プレスリリース＝

平成26年2月21日

岩手県内企業景況調査結果
—平成26年1月調査—

標記について、概要を取りまとめましたので公表いたします。
なお、詳細は機関誌「岩手経済研究」26年3月号に掲載予定です。

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号
岩手銀行中ノ橋支店3階

財団法人 岩手経済研究所
理事長 高橋 真裕

(担当 地域経済調査部 澤田恭範)
TEL 019-622-1212

〈 調査結果の要約 〉

－ 持ち直しの動きが続く －

1. 最近の業況感

県内企業の最近の業況は、「良い」と回答した割合が20.0%、「悪い」が26.3%となり、業況判断BSIはマイナス6.3だが前回調査（25年10月）を7.2ポイント上回った。3期連続の改善となり、全体としては持ち直しの動きとなった（図表1、2）。

この背景としては、震災復興需要で公共工事や住宅着工が増加基調で推移しているほか、海外経済の持ち直しと円安を背景に、生産が輸出関連業種を中心に改善の動きとなっていることがあげられる。また、消費税増税前の駆け込み需要が追い風となり、個人消費が持ち直しの動きとなっていることも影響しているとみられる。一方、原油、輸入原材料価格の上昇等で収益環境が悪化していることから、依然として厳しい業況感をもつ企業も多く、全産業でみた場合、BSIはマイナスの状況が続いている。

2. 先行きの業況感

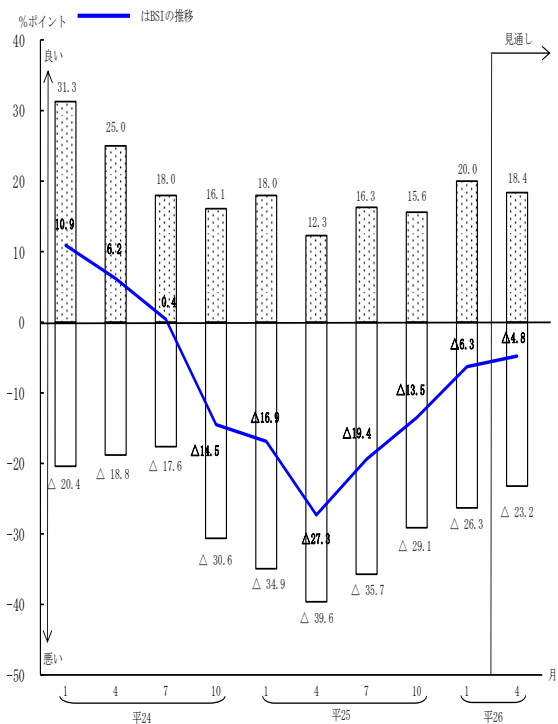
今後3カ月間の先行きは、マイナス4.8となっており、僅かながら改善が進む見通しとなっている（図表1、2）。

図表1 業況判断BSI

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

業種	期	最近		先行き
		平成25年10月調査	平成26年1月調査	今後3カ月間
全産業		△ 13.5	△ 6.3	△ 4.8
製造業		△ 5.4	△ 3.2	△ 1.6
食料品		△ 30.8	△ 38.5	△ 30.8
木材・木製品		33.3	0.0	0.0
窯業・土石		33.3	40.0	40.0
金属製品		0.0	12.5	12.5
一般機械		50.0	20.0	0.0
電気機械		△ 42.8	△ 16.6	0.0
その他		△ 16.6	0.0	0.0
非製造業		△ 17.1	△ 7.8	△ 6.2
建設業		26.1	0.0	0.0
卸売業		△ 29.3	△ 9.3	7.0
小売業		△ 20.7	△ 6.7	△ 10.0
運輸業		△ 28.6	△ 28.6	△ 14.3
サービス業		△ 30.5	△ 8.0	△ 28.0

図表2 業況判断BSIの推移（全産業）

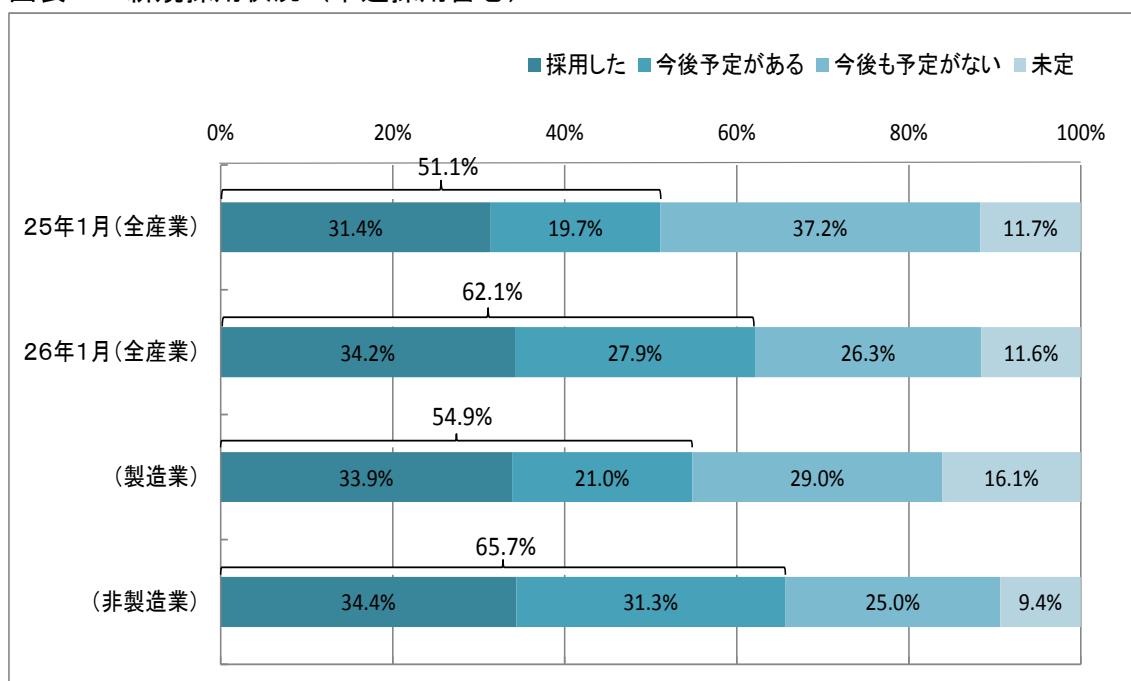


3. 県内企業の新規採用動向

平成26年度の新規採用状況（中途採用含む）は、「採用者を決定した」または「今後採用予定がある」（以下、「採用」）とした企業が62.1%と最も多く、「採用予定がない」の26.3%を大幅に上回ったほか、「未定」が11.6%となった（図表3）。

昨年1月の同調査と比較すると、「採用」とした企業の割合は11ポイント上回っており、県内企業の求人は復興需要や景気の持ち直しを背景に、全体として増加傾向にあるとみられる。

図表3 新規採用状況（中途採用含む）



< 調査要領 >

1. 調査内容

平成26年1月調査時点での業況感と先行き（3カ月間）の見通し、ならびに25年10～12月期の前年同期と比較した売上高等の実績および26年1～3月期の前年同期と比較した岩手県内企業経営者の見通し等。

2. 調査時期

平成26年1月中旬

3. 調査対象企業

岩手県内企業 350社

4. 回答企業

製造業	62社
建設業	23社
卸売業	43社
小売業	30社
運輸業	7社
サービス業	25社
合計 (回収率)	190社 (54.3%)

(注) BSI (Business Survey Index : 景況判断指数)は、企業の業況実績や企業経営者の業況見通し等を指標化したもので、「プラス (増加、上昇、過剰等)」と回答した企業割合から、「マイナス (減少、下降、不足等)」と回答した企業割合を差し引いた値である。